

こあら新聞

第39号

担当 吉田 真紀

インプラント

むし歯や歯周病、あるいは事故など何らかの理由で自分の歯を失ってしまった場合、1本でも失うことで隣在歯や対合歯が動いてきたり、それによって咬み合わせが変化し物が詰まりやすくなったり、歯や顎に問題が起きたりと悪影響を及ぼします。そのため、できるだけ早くその失った部分を人工の歯で補うことが重要となります。

そこで今回は、みなさんご存じのブリッジや入れ歯（義歯）に変わる新しい治療法でもあり、最近相談されることも多いインプラントについてお話したいと思います。

インプラントとは、失ってしまった歯の変わりに生体親和性が高く安全なチタン製のネジのような人工の歯根を顎の骨に埋め込み、その上に人工の歯を作製し装着する治療法です。



インプラントの特徴

利点

・ブリッジのように隣の健康な歯を削りダメージを与える心配もなく、単独で補うことができます。

・入れ歯は硬い物が咬めない、異物感があるなど何らかの不具合を感じる事が多いのですが、インプラントは固定性のため、自分の歯のように硬い物も粘る物も咬むことができ、留め金も必要としなないため異物感ありません。

欠点

・手術が必要となります。

・治療期間が長くなります。（トータルで種類、状態によりますが約3ヶ月〜10ヶ月かかります。）

・治療費は保険が効かず、自由診療となります。

・患者さんの口腔内の状態と全身の状態によっては適応とならない場合があります。

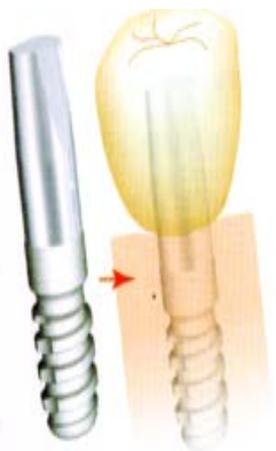
種類と方法

当院では、1回法（1ピース1回法）と2回法（2ピース2回法）の2通りの術式を行っております。そして、1回法にはAQBインプラント、2回法にはZIMMERインプラントを使用しています。

ハイドロキシアパタイト（HA）をコーティングしたHAインプラントを用いており、HAは歯や骨など硬組織を構成する成分であり、生体安全性、親和性、骨伝導能が明らかとなつていきます。そのため、骨との直接結合により、チタンインプラントに比べ早期の治療が期待できます。

1回法

手術を1回のみ行います。骨の中に埋める部分と歯肉の上に出ている部分（土台部）が1つになっているワンピースのインプラントを埋め込みます。使用するパーツも少なく済むため2回法に比べると費用も低価格が実現できます。ただし1回法には適応としていくつか条件があります。



インプラント1回法

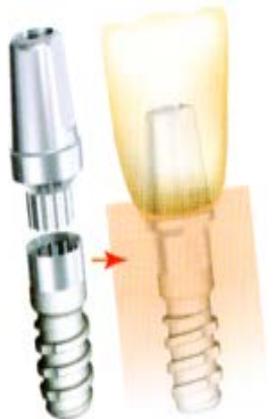
インプラントの流れ

- ① インプラント手術を行うにあたって骨の量(高さ(深さ)、幅)が十分にあること。
- ② インプラントの方向と上部構造(かぶせ物)の入る方向が著しく異なること。(ワンピースのため、土台部分の方向修正が不可能なため。)
- ③ 見た目的に要求が極端に強くない部位。(特に奥歯)

などが挙げられ、右記の条件を満たさない場合は他の追加手術(骨を増やす手術など)が必要になるか、2回法の適応と考えます。

2回法

手術を2回行います。1回目に骨の中にインプラントを埋入し一度歯肉を閉じ、数ヶ月間置き、インプラントと骨が結合するのを待ちます。粘膜下に置くことにより感染リスクも低くなり、より安全に結合するとされています。2回目の手術で再度歯肉を切開し、土台部をスクリーで連結します。そのため、スクリー部分で分かれていることで土台の形や方向の調整や修正が可能なので、広く適用が可能です。工程やパーツが増えるため費用は少し上がります。



インプラント2回法

① 診査、診断

口腔内診査、病歴、現在の健康状態、レントゲン撮影、歯周病検査、歯科用CT撮影、口腔内写真、口腔模型採得などからお口の状態や全身の状態を慎重に評価し、インプラント治療が行えるか判断します。

② 治療計画

資料を元にインプラントを埋める位置、骨の硬さ、幅、深さ(高さ)を確認、シミュレーションし、治療計画を立てて説明を行います。

③ 手術準備

歯周病やむし歯などの問題はインプラントを埋入する上でリスクファクターとなるため、手術前に口腔内の衛生管理、歯科治療を行い、お口の中心の環境を整える必要があります。

④ インプラント手術(1次手術)

局所麻酔下でインプラントを埋入する手術を行います。手術の時間は1〜2時間程度となります。
※1回法のインプラントの場合はこの1回のみ手術となります。

⑤ 治癒期間

インプラントが骨としっかり結合して定着するまで2〜3ヶ月ほど治癒期間を設けます。

⑥ 2次手術

インプラントが定着した所で、歯肉の形成をするために埋め込んだインプラントの頭を出し、接続部に仮の土台を装着させ歯肉の上を貫通させ、歯肉が治癒するのを2〜3週ほど待ちます。

⑦ 上部構造の製作(型採りと装着)

歯肉が治癒した時点で、その状態に合った最終的な土台に置き換えます。そしてその土台に合わせ、歯の形や色、歯並び、咬み合わせを確認したのち、インプラントの上にかぶせる人工歯(上部構造)の型採りをし、作製し、装着します。

メインテナンス



さて、ここまで長い期間をかけて無事にインプラント治療が終わり、ひと安心というところですが、よく患者さんより「どれくらい長持ちするの？」という質問があります。インプラントを長持ちさせるためには、インプラント治療終了後のメインテナンスが最も重要となり、それによって、インプラントの寿命に大きく影響することとなります。

インプラント治療後のケアを怠ってしまうと、インプラントの周りの歯肉に炎症が起ることがあり、このことをインプラント周囲炎といい、骨や歯肉が痩せていき、最悪の場合インプラントが抜けてきてしまうこともあります。健康な天然の歯とインプラントでは支える歯肉の構造が違うため、炎症が起こると、健康な歯よりも急速に悪化していく傾向にあります。

その他にも、咬み合わせ、生活習慣なども原因となる場合があります。

そのことからインプラント治療後は、患者さん1人1人に合ったご自宅でのセルフケア、また歯科医院での歯科医師や歯科衛生士によるプロフェッショナルケアを含め、定期的な検診を行うことにより、お口や身体の状態の変化もメインテナンスを行っていくことが可能となり、さらにインプラントを長く使い続けることができます。

まとめ

インプラント治療は怖いと言う方もいらっしゃるかもしれませんが、天然の歯と同等ぐらいの形態と機能を回復できる有効な治療法です。

当院では患者さんの希望に沿える様、一番良い方法をご提案させていただきたいと思っておりますので、興味のある方、また、悩んでいる方はどうぞお気軽にご相談下さい。



スタッフの広場



今年を振り返る一言

今年は運動不足な1年でした。来年こそは、筋肉をつけて体力UPで頑張りたいと思います★

歳なんかに負けないゾー！
オー(^o^)
吉田

一生自分のお口から食べられるようにお手伝いするのが私達の役目ですが、冬を迎えても食欲の秋にならないように注意しましょう。自分自身、今年も反省の1年でした。

今年は風邪をひいて何かと体調を崩すことが多かったの
で来年は体調管理をしっかり
したいです(;▽;)元気いっぱい
で頑張るぞ！！来年は申年🐵
で年女です(*^_^*)
板坂

今年は身近な人たちが体調
不良だったので、来年も食生活
が偏らないように気を付けたい
と思います！！
色々な本も読んで勉強だー
★(`・ω・´)
長澤